

農林水産統計調査におけるPDCAサイクル点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00500201
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査
調査の名称	農業経営統計調査（子牛・去勢若齢肥育牛・乳用雄育成牛・乳用雄肥育牛・交雑種育成牛・交雑種肥育牛生産費）
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他（「食肉関係資料」（食農審の畜産部会で配布される資料で公表扱い）の作成）
特記事項	

点検・評価事項等 点検・評価項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況			
	整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)	
1 調査の目的	整合	結果の利活用実態 (特記事項)				
		その他（ ）				
2 調査対象の範囲※	整合	調査対象地域				
		その他（ ） (特記事項)	調査対象産業			
3 報告を求める個人又は法人 その他の団体(報告者)の数等※	不整合あり	○ 母集団情報			乳用雄牛を飼養する経営体の牛トレサ情報を毎年地方組織に還元し、最新の状況を示すことにより選定のしやすさを向上させることを検討。	
		全数層・抽出層の設定	○ 対象数の算定			
		その他（ ） (特記事項)				
		乳用雄育成牛及び乳用雄肥育牛生産費については、情勢によって調査対象畜種の飼養の有無が大きく変化するため、母集団情報どおり選定することが困難であるため、設計上の標本数と集計経営体数に相当程度の差が生じている。		実施方法の見直し		対応中/対応予定
4 報告を求める事項及びその 基準となる期日又は期間※	整合	調査票				
		調査期日・期間	調査事項			
		(特記事項)	その他（ ）			
5 報告を求めるために用いる 方法※	整合	調査方法				
		民間委託の範囲	調査系統・組織			
		(特記事項)	その他（ ）			
6 報告を求める期間※	整合	調査実施期間(始期・終期)				
		調査の周期	調査票の提出期限			
		(特記事項)	その他（ ）			
7 集計事項※	整合	未集計				
		復元推計	未公表			
		(特記事項)	その他（ ）			
8 調査結果の公表の方法及び 期日※	整合	公表実施時期				
		e-statの掲載	公表媒体			
		その他（ ）	閲覧表			
		(特記事項)				
		新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和元年の公表の期日を4ヶ月延期済				
9 使用する統計基準	整合	独自基準の採用				
		その他（ ）	独自基準の説明			
		(特記事項)				
10 調査票情報の保存期間及び 保存責任者	整合	保存期間				
		保存方法	保存責任者			
		(特記事項)	その他（ ）			
11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	整合	立入検査対象事項				
		(特記事項)	その他（ ）			
12 不整合は生じていないものの、 改善を検討（予定）している事項		検討（予定）している事項の有無 (選択記入)	検討（予定）している事項の概要 (自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
		あり	調査結果の公表期日については、令和元年の公表についてのみ新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、9月の軽微変更により期日を4か月延期したものの、これまでも調査計画（翌年10月）から遅延しており、基幹統計に関する一斉点検において指摘を受けている。	調査計画の変更申請	対応中/対応予定	取りまとめ、公表まで期間を要しており、短縮することは困難であることから、次回調査見直し（令和4年調査体系）において、実態にあった公表期日（翌年12月）に見直す。

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

Ⅱ 必要 な 精 度 の 確 保 ・ 向 上 の 観 点	1 調査の実施目的を確保するための の精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
		精度管理の目安として いる指標区分 ※該当するものを選択 (複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考 え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標 の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
		○ 達成精度(実績精度)	計算単位当たり全算入生産費の標準誤差 子 牛 2.0% 去勢若齢肥育 2.0% 乳用雄育成牛 3.0% 乳用雄肥育牛 2.0% 交雑種育成牛 3.0% 交雑種肥育牛 2.0%	令和元年調査 * 前回及び前々回調 査は平成29年度調査	令和元年調査	平成30年度調査	平成29年度調査
		回収率・回答率			子 牛 1.9% 去勢若齢肥育 0.9% 乳用雄育成牛 3.1% 乳用雄肥育牛 1.4% 交雑種育成牛 2.4% 交雑種肥育牛 2.7%	子 牛 2.1% 去勢若齢肥育 1.3% 乳用雄育成牛 2.2% 乳用雄肥育牛 2.1% 交雑種育成牛 3.3% 交雑種肥育牛 1.9%	子 牛 1.9% 去勢若齢肥育 1.0% 乳用雄育成牛 3.5% 乳用雄肥育牛 2.3% 交雑種育成牛 3.3% 交雑種肥育牛 1.4%
		回収標本数					
		カバレッジ					
		その他	*前回及び前々回調査についても同様の標準 誤差率を設定		注：上記は集計対象経営体による実績精度 ※ 集計対象経営体：選定できなかった経営体及び調査期間中に調 査不能となった調査対象経営体を除いた経営体		
		設定なし					